

次ページへ続く

Continued on next page...

## 表紙模様集成稿 (三)

小林 健 二

本報告第二・四号で、和書の表紙模様の写真を掲載したが、その続々編として同様の企画をたててみた。

掲載順は(一)(二)に準じ、左記のように大まかな分類を行った。

### 一、植物文様

草花・樹木・蔓草(唐草)等。

### 二、動物文様

人物・亀・虫・鳥・鳳凰・竜等。

### 三、器物文様

器物(宝尽し)・扇・旗・折鶴等。

### 四、自然現象

雲・波・風景等。

### 五、幾何文様

紋・縞・曲線・円・輪繋等。

### 六、文字文様・有職文様

文字・記号・有職文様等。

掲載仕様は(一)(二)と同様である。

(一)(二)にもまして、図柄の名称を考えかねたものがある。大方の御叱正

と御教示を賜りたい。

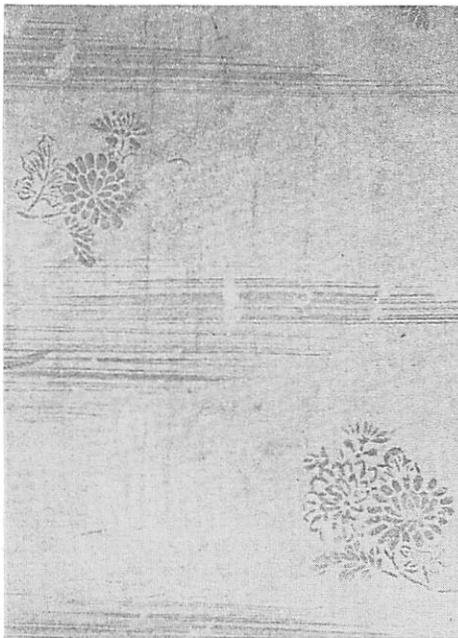
なお、今回の掲載資料は当館蔵のものを主体とし、その他、久保田淳氏・五李文庫・仙淵文庫・南園文庫の御協力をいただいた。深謝申し上げる。個人蔵の和書には、書名および所蔵者名を記していない。(一)(二)と同じく無断の複写・転載を禁ずる。



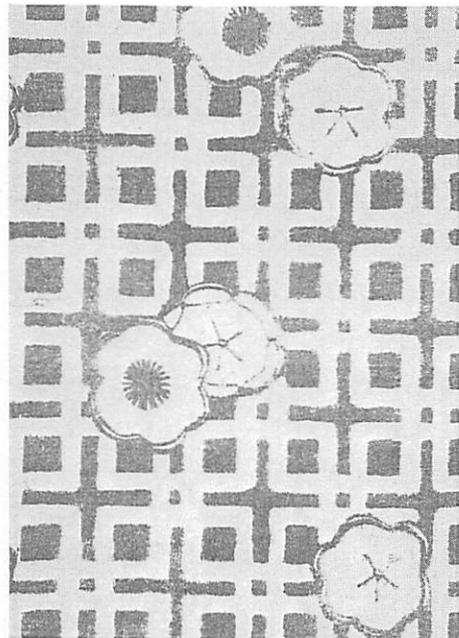
3 1 3 水波地に梅花文（織文）  
詞花和歌集（当館蔵サ 2 28）



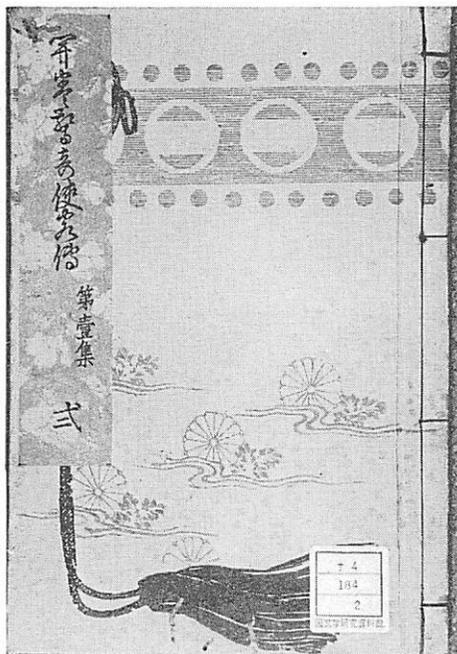
3 1 2 銀砂子散し地に桜の花木（刷）  
無隻相鬘語（当館蔵ナ 4 316）



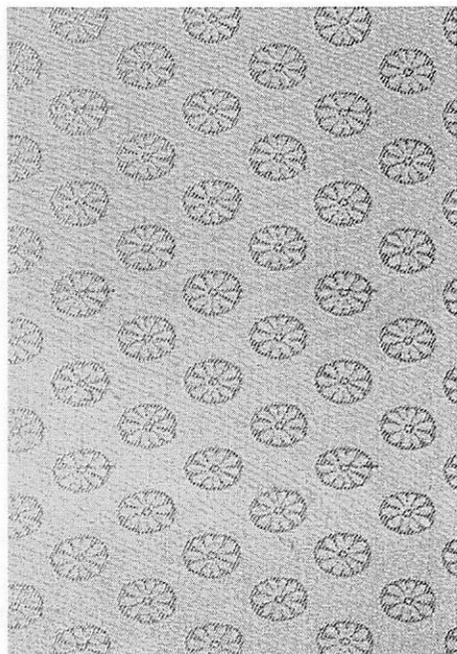
3 1 5 丁字引き霞に菊花（刷）



3 1 4 六弥太格子地に梅花散し（刷）  
釈迦八相倭文庫（当館蔵ナ 4  
151）



3 1 7 金箔散し地に菊水と丸に一文字  
 (刷) 開港驚奇侠客伝(当館蔵ナ  
 4 184)



3 1 6 菊花文 (織文)



3 1 9 流水と岩に草花 (刷)  
 薄衣草紙 (当館蔵ナ 4 183)



3 1 8 流水に蓮花 (型押)  
 大寄噺の尻馬(当館蔵ナ4 277)



3 2 1 布目地に草花文散し（型押）  
本朝虞初新誌（当館蔵ハ 8 1）



3 2 0 菊花と紅葉散し（型押）  
秋屋集（当館蔵ハ 1 3）



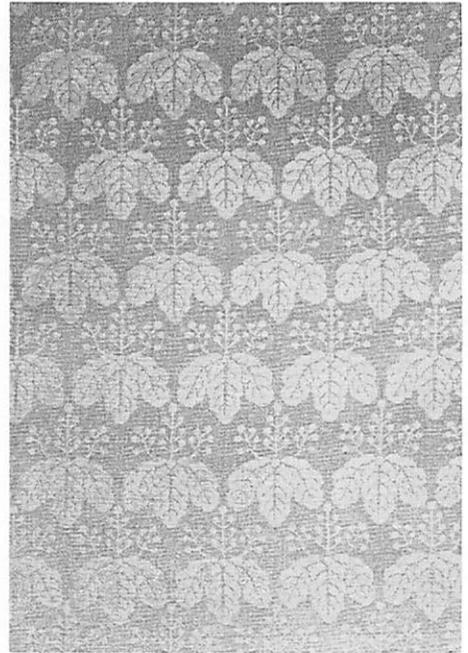
3 2 3 草花散し（刷）  
艶道徴言（当館蔵ナ 6 20）



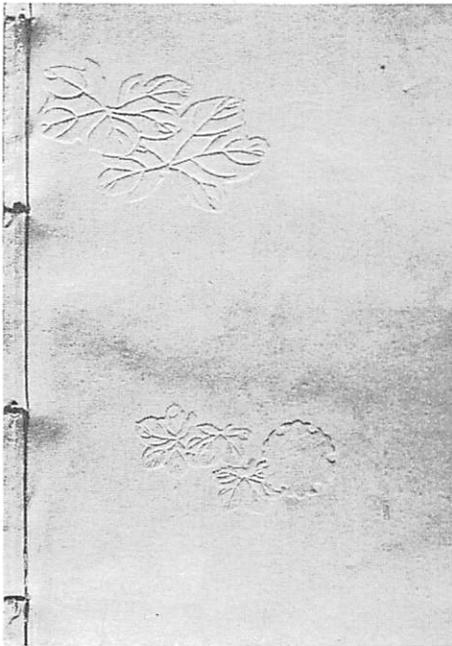
3 2 2 草花文（雲母刷）



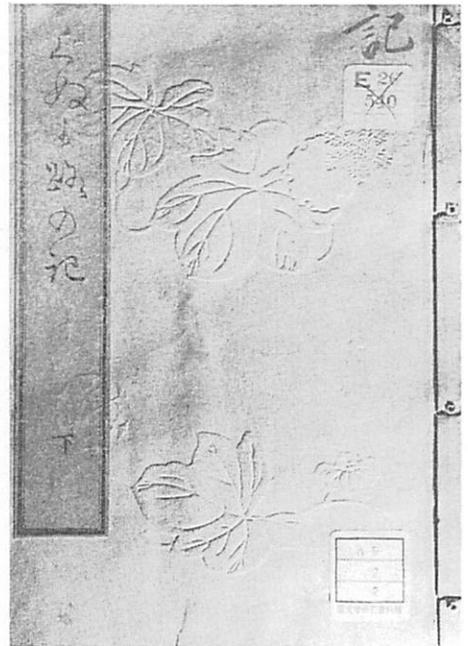
3 2 5 枇杷の花葉（型押）  
 絵島廻浪（当館蔵ハ2 8）



3 2 4 桐花文（織文）



3 2 7 同（裏表紙）



3 2 6 蔦葉に雪花（型押）  
 くぬかちの記（当館蔵ハ5 2）

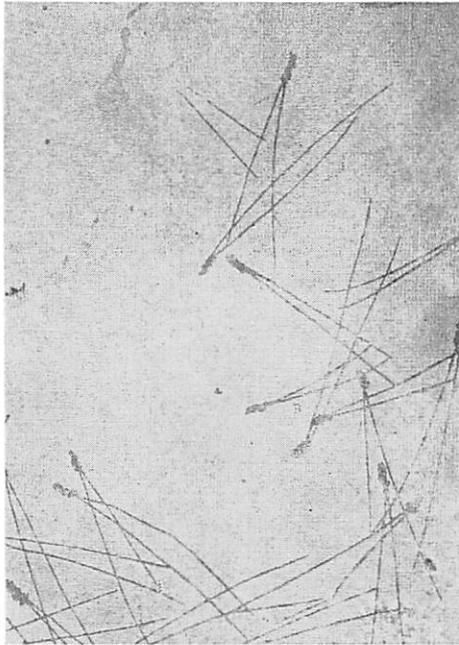


3 2 9 布目地に流水と紅葉散し (刷)



3 2 8 蔦 (刷)

美登毛能数 (当館蔵ハ 5 4)



3 3 1 布目地に松葉散し (刷)

松尾叢話 (当館蔵ナ 5 18)



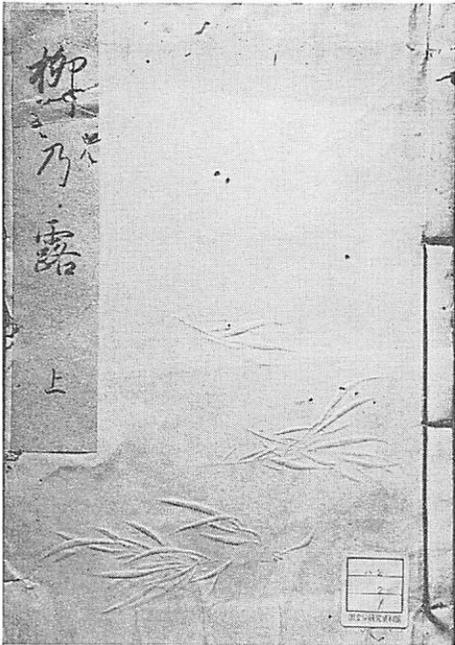
3 3 0 檀紙に若松 (刷)



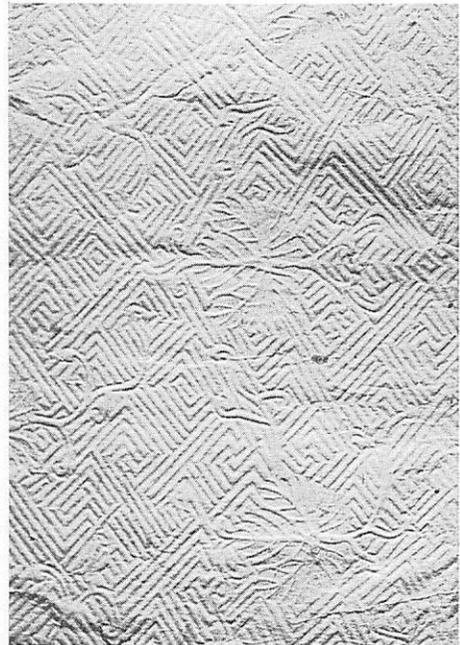
3 3 3 若松・若樹散し（艶出し）（裏面）  
音韻反字用例（当館蔵マ1 3）



3 3 2 檀紙に松と菖蒲（刷）  
近世奇跡考（当館蔵ナ5 67）

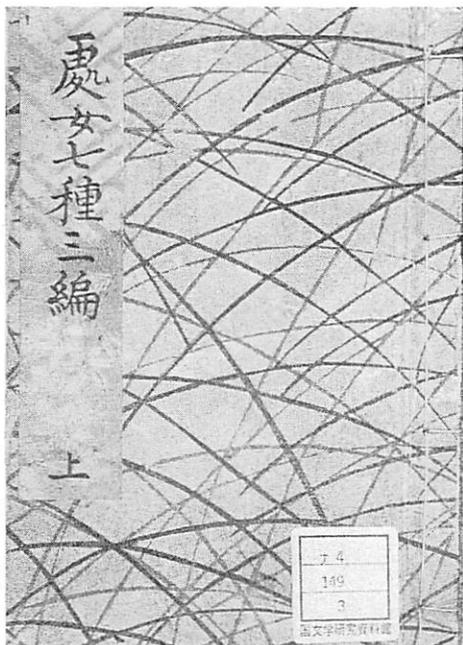


3 3 5 柳葉（型押）  
柳の露（当館蔵ハ2 2）



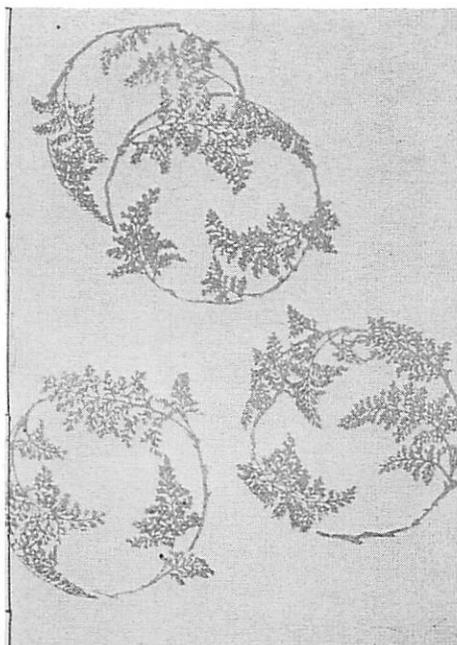
3 3 4 雷文繫地に蔦葉散し（艶出し）  
（裏面）授幼難字訓（当館蔵マ2

6）



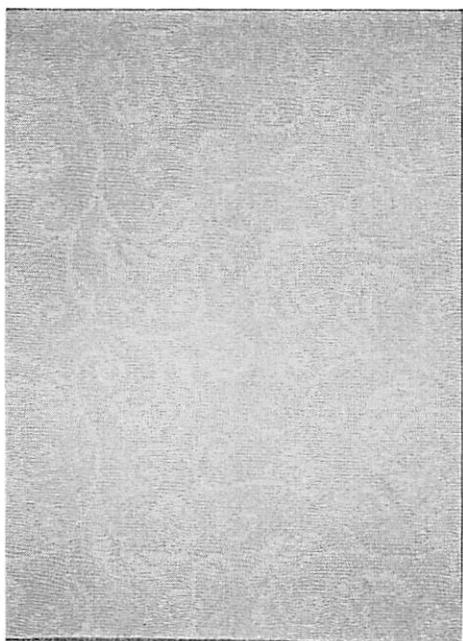
337 薄 (描)

處女七種 (当館蔵ナ4 149)

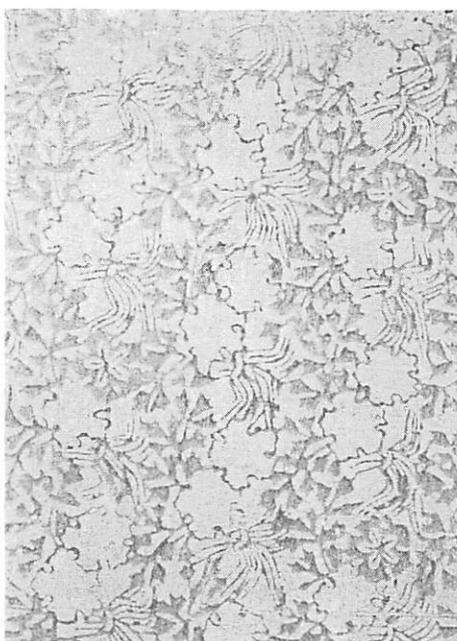


336 布目地に信夫の丸散し (刷)

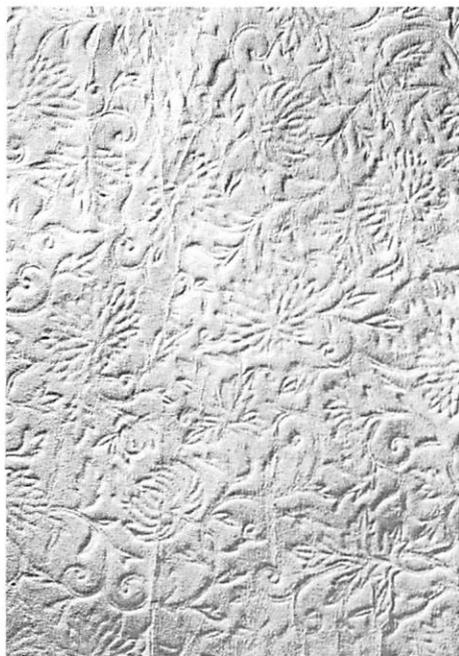
十符の菅薦 (当館蔵ハ5 7)



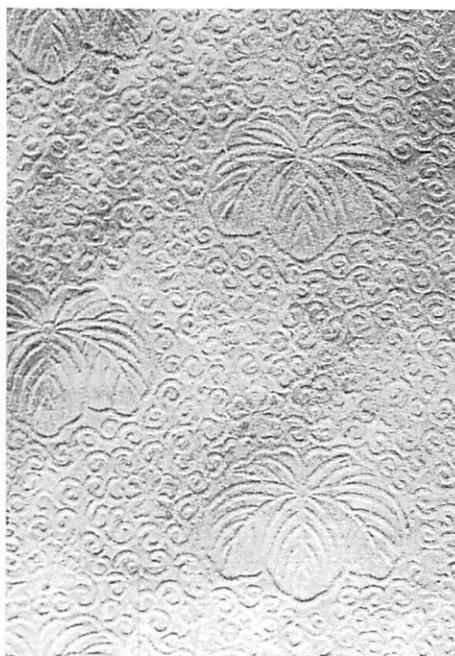
339 唐草 (織文)



338 信夫地に花文散し (刷)



3 4 1 菊唐草 (型押)  
扶桑皇統記図会 (当館蔵ナ 4  
39



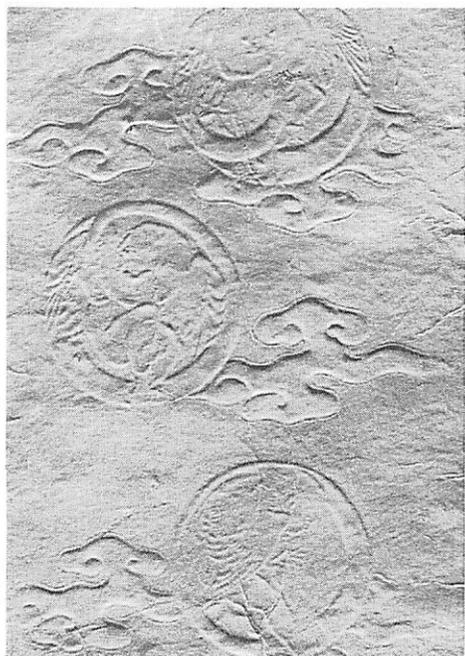
3 4 0 蔦唐草 (型押)  
同文通行 (当館蔵マ 2 8)



3 4 3 卍繋ぎ (紗綾形) 地に牡丹唐草  
と宝尽し (織文)



3 4 2 花文唐草 (織文)

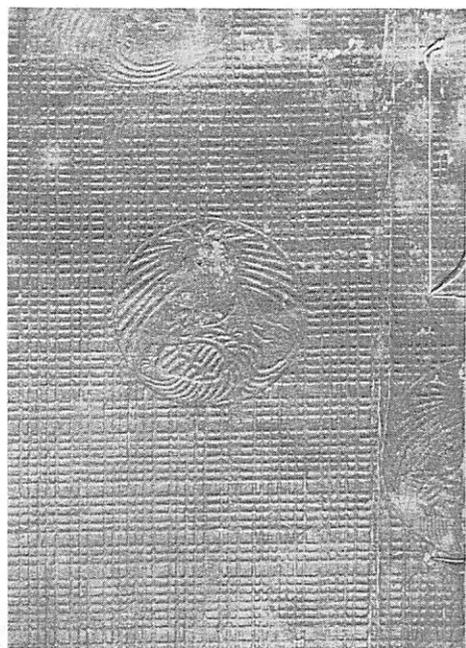


3 4 5 飛雲に天使の丸 (型押)

絵本通俗三国志 (当館蔵ナ4 289)

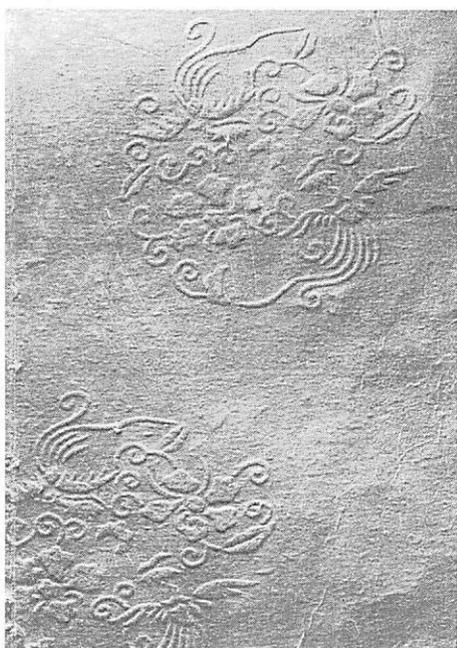


3 4 4 牡丹唐草 (織文)



3 4 7 格子縞地に鶴亀の丸散し (型押)

言語学 (当館蔵マ0 2)



3 4 6 花鳥文 (型押)

絵本孫子童観抄 (当館蔵ナ4  
242)



349 波雲に鳳凰（艶出し）（裏面）  
尚不愧齋存稿（当館蔵）ハ8 2)



348 鳳凰の丸（刷）



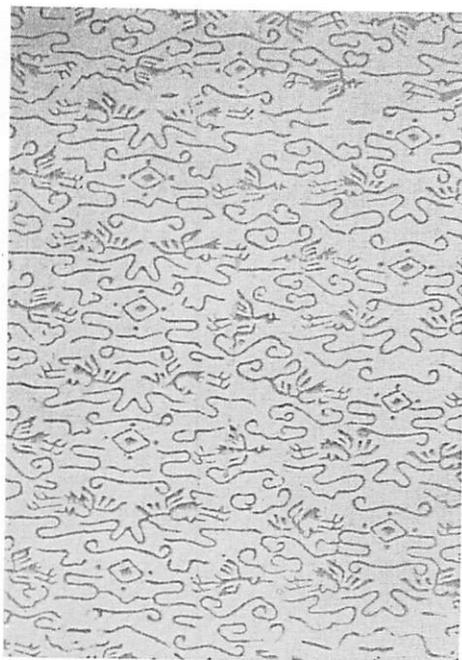
351 同（裏面）



350 波雲に鳳凰の丸（艶出し）  
好古餘録（当館蔵ナ5 76）



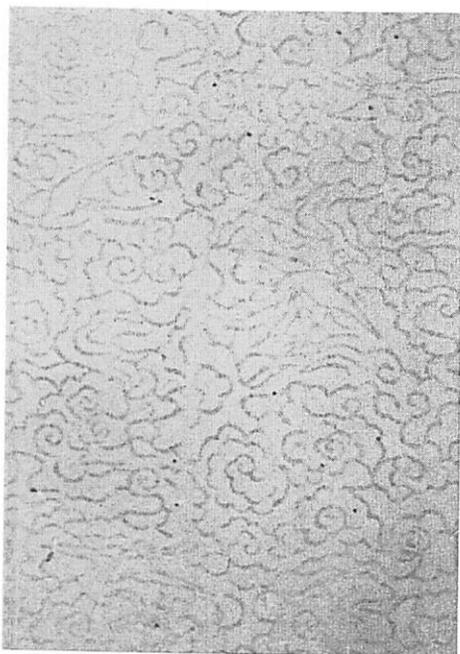
3 5 3 雲中に鳥（艶出し）（裏面）  
草字彙（当館蔵マ2 1）



3 5 2 宝尽し雲中に鳥（刷）



3 5 5 同（裏面）



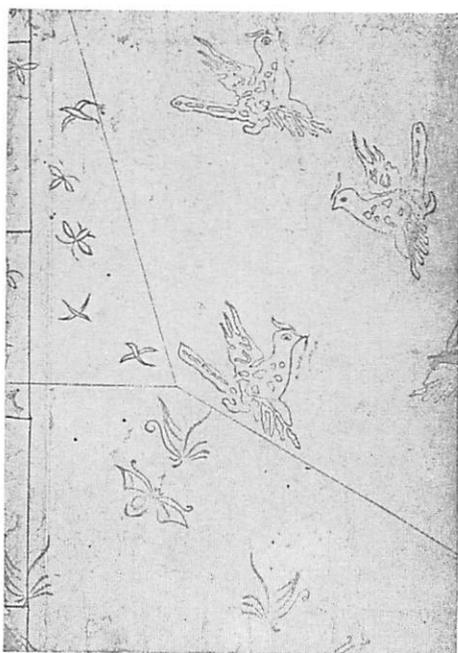
3 5 4 布目地に雲中に鶴（艶出し）  
倭訓栞（当館蔵マ3 34）



357 波に群翔千鳥 (刷り)  
椿説弓張月 (当館蔵ナ4 218)



356 丁字引き刷毛目地に波に群翔千鳥 (刷り)  
俳優茶話 (当館蔵ナ7 4)



359 同 (裏表紙)



358 鳥蝶文 (刷り)  
睡餘小録 (当館蔵ナ5 23)



361 布目地に信夫と蝶(刷)  
芳窓漫録(当館蔵ナ5 12)



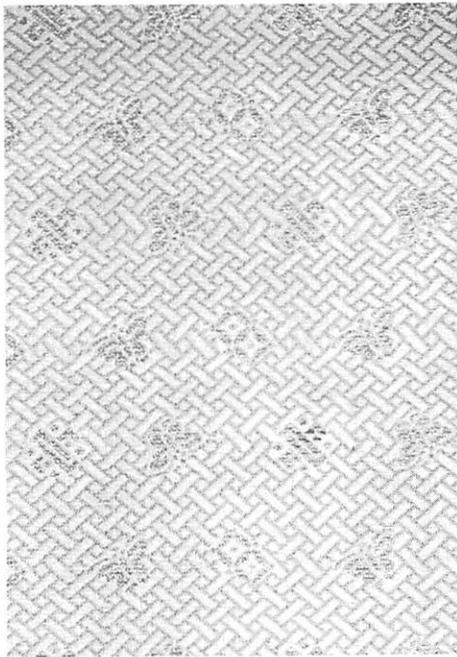
360 布目地に鳥蝶散し(刷)  
あゆひ抄(当館蔵マ5 33)



363 卍繋ぎ(紗綾形)地に飛雲と竜  
の丸(艶出し)(裏面)  
世説音積(当館蔵ナ8 12)



362 蝶文(刷)  
滑稽笑談くになまり(当館蔵ナ4 211)



365 緊井桁地に蝶と宝尽し (織文)



364 飛雲に竜 (型押)

本朝虞初新誌 (当館蔵ハ8 1A)



367 重菱繫ぎ地に扇文 (織文)



366 松皮菱・若松・三つ巴・小桜・丁字  
散し (刷)

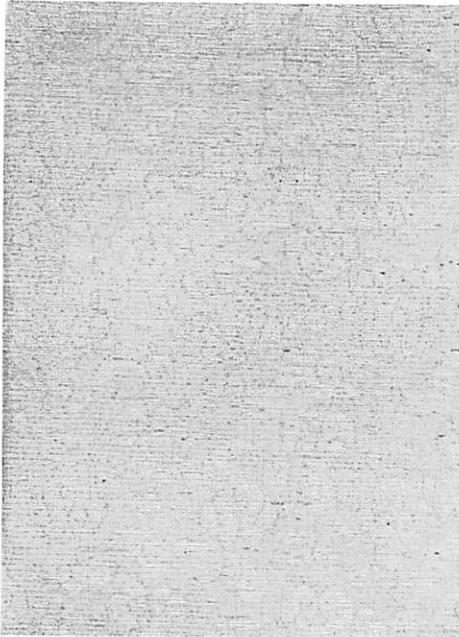
増補大和言葉 (当館蔵マ4 17)



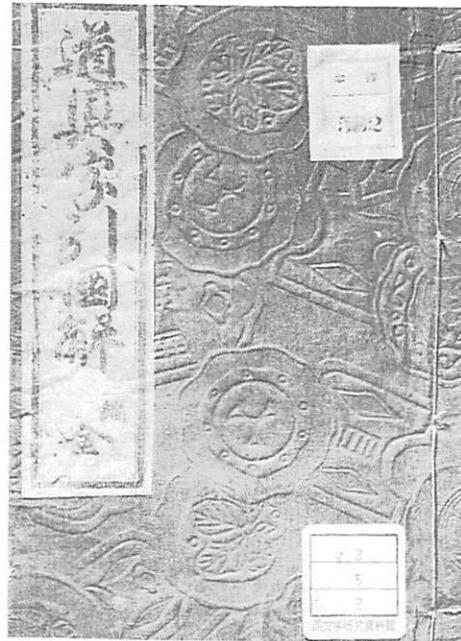
369 折鶴散し (型押)  
絵本金花談 (当館蔵ナ4 8)



368 国旗文 (型押)  
西洋道中膝栗毛 (当館蔵ハ4 1)



371 瑞雲繋ぎ (織文)



370 桐・三つ巴等瓦文 (型押)  
道具字引図解 (当館蔵マ3 5)



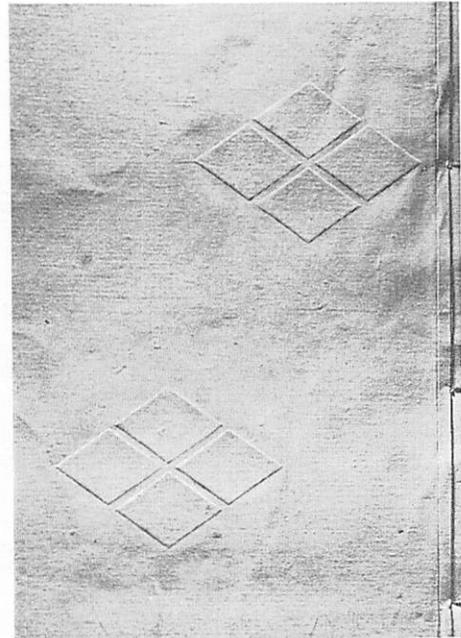
3 7 3 遠山霞に薄と雁の風景（型押）



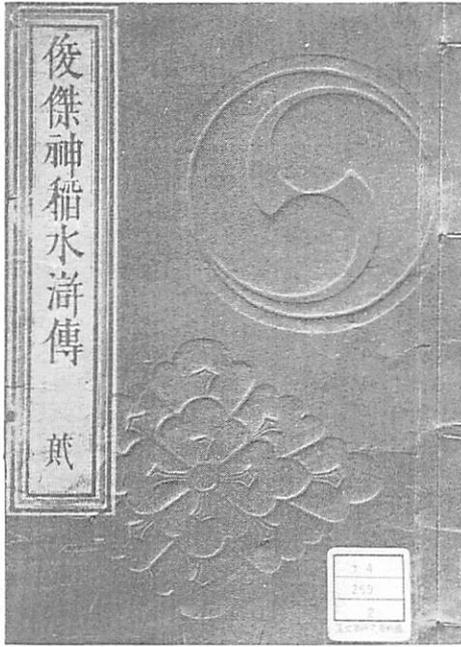
3 7 2 富士山に遠山霞と波に帆掛舟や松原の風景（型押）諸国道中金の草鞋（当館蔵ナ4 274）



3 7 5 輪鼓紋（型押）  
都の手婦俚（当館蔵ナ5 125）



3 7 4 四つ菱紋（型押）  
都気能雄久志（当館蔵ハ2 3）



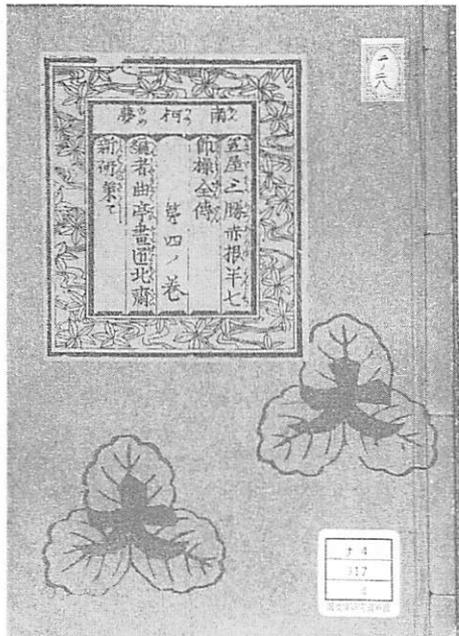
377 二つ巴と重花菱の紋 (型押)  
 俊傑神稻水滸傳 (当館蔵ナ4  
 259)



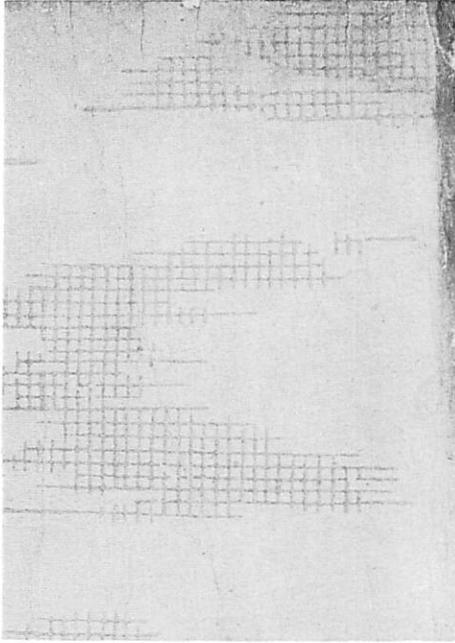
376 竜胆車と三つ巴の紋 (型押)  
 冬道翁歌集 (当館蔵ハ2 5)



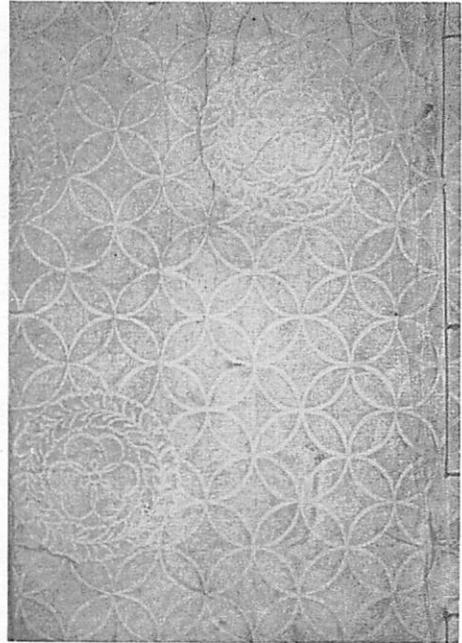
379 雲珠と花菱の紋 (刷)  
 女郎花五色石台 (当館蔵ナ4  
 78)



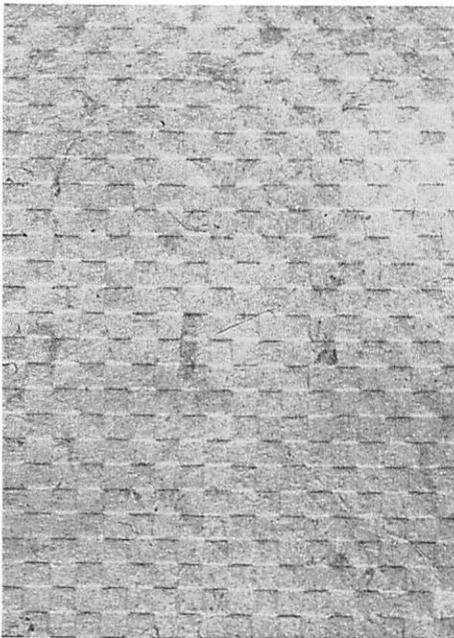
378 三つ葉に大の字紋 (刷)  
 三七全伝南柯夢 (当館蔵ナ4  
 317)



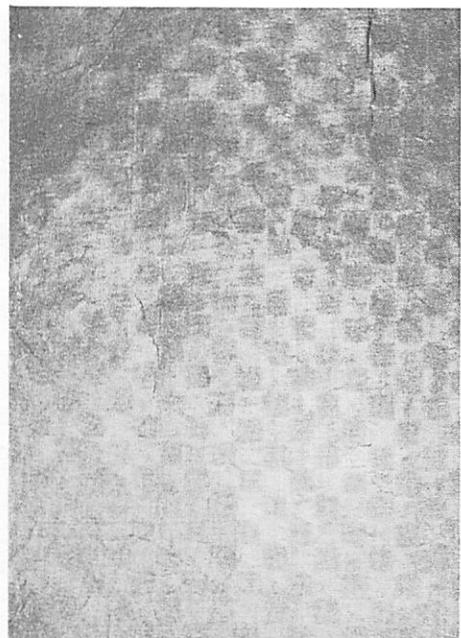
381 格子霞（刷）



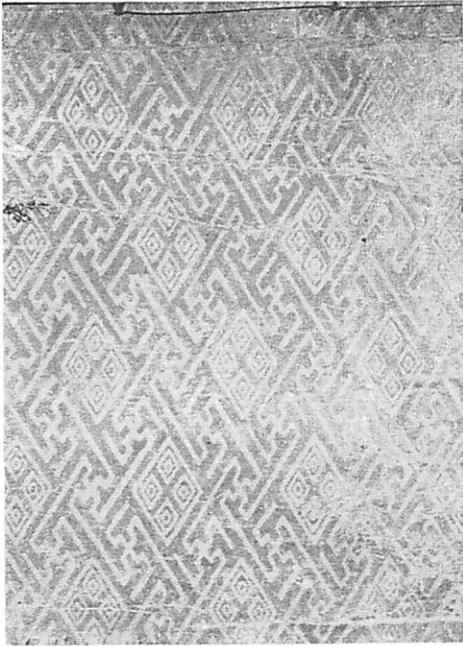
380 七宝地に藤輪三弁花文（型押）  
江戸大節用海内蔵（当館蔵マ3  
39）



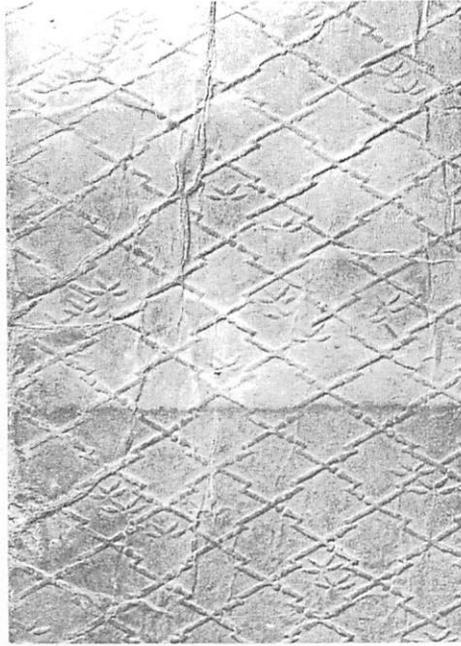
383 同（裏面）



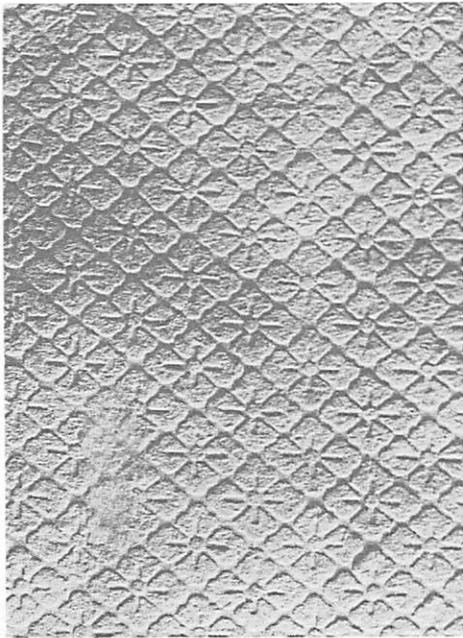
382 石畳（艶出し）



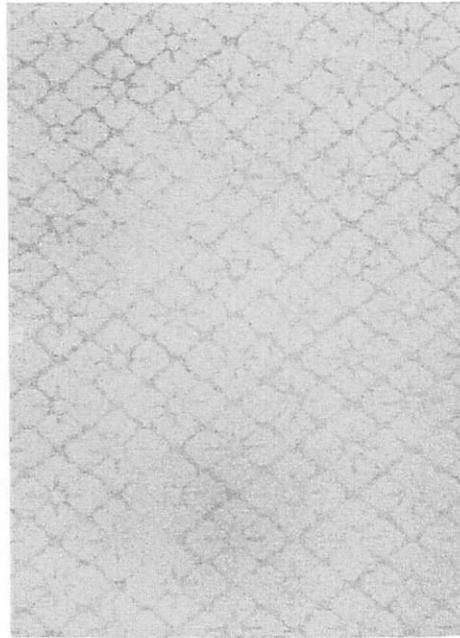
385 卍繋ぎ（紗綾形）に菱文（雲母刷）



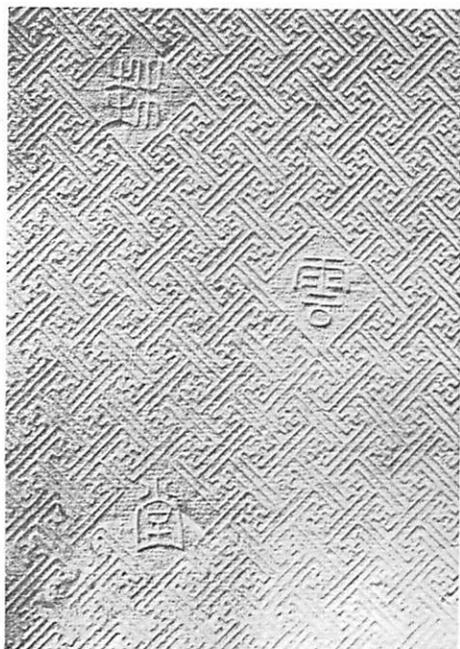
384 松皮菱竹垣地に笹の葉散し（型押）絵本報仇安達原（当館蔵ナ4 185）



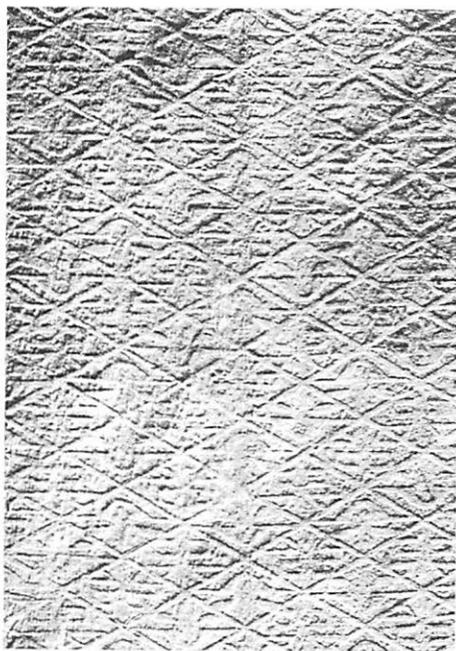
387 同（裏面）



386 花菱繋ぎ（艶出し）  
偏類六書通（当館蔵マ3 52）



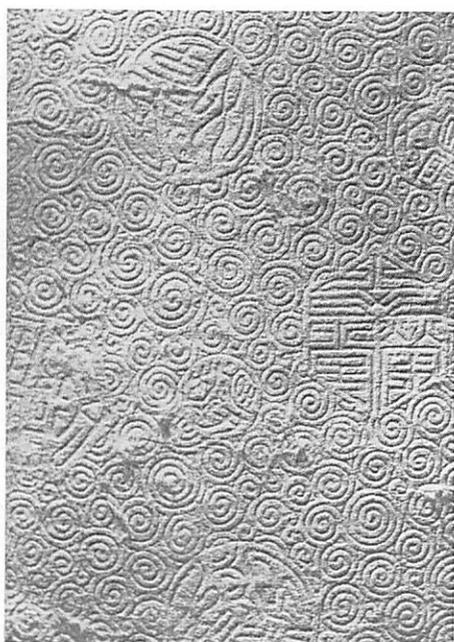
389 卍繋ぎ（紗綾形）地に「桂雲堂」  
の文字（艶出し）（裏面）  
拙堂文集（当館蔵ナ8 133）



388 菱繋ぎ（艶出し）（裏面）  
言文一致（当館蔵マ5 35）



391 点地に草花や雁の丸・扇形（刷）



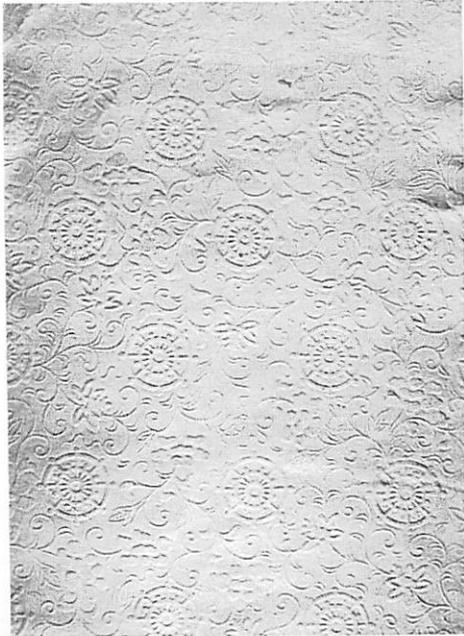
390 渦巻地に丸と角字入亀甲散し  
（艶出し）（裏面） 増補和漢合類  
大節用集（当館蔵マ3 22）



393 浮線綾散し (型押)



392 布目地に鶴の丸と若松の丸 (型押)



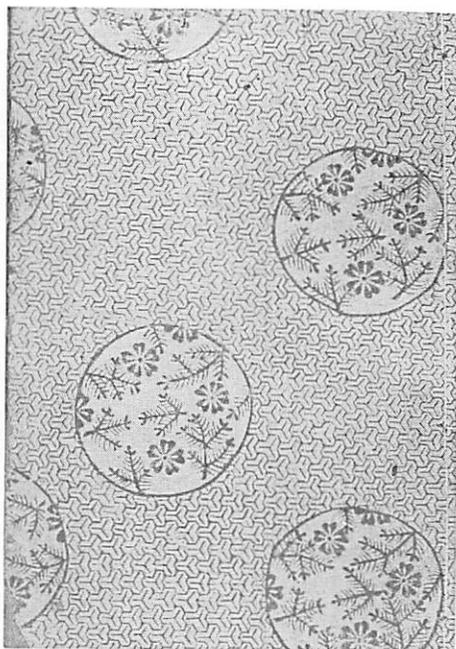
395 蓮花唐草地に重車文 (型押) (裏面)



394 浮線綾と東六条藤散し (型押)  
清明軍談 (当館蔵ナ4 291)



397 卍繋ぎ（紗綾形）地に二つ巴散し（刷）  
いろは文庫（当館蔵ナ4 292）



396 毘沙門亀甲地に小桜と若松の丸散し（刷）  
周防内侍（当館蔵ナ4 17）



399 飾り角字丸と瑞雲地に鳥等の錦の丸（織文）



398 檀紙に丁字三つ巴散し（刷）